

2017-18-2

## 豚 皮膚

吉崎康二郎

提出機関：バルセロナ自治大学，スペイン

症 例：3日齢，オス，*Sus scrofa domesticus*，子豚

発生状況：

- 母豚1,100頭，哺乳豚3,000頭規模の農場
- 出生後24～48時間の新生豚において，頭部のびまん性チアノーゼ，嗜眠を呈し，発症後12～24時間以内に死亡。
- 同腹の新生豚中1～3頭程度に発症し，発症豚はすべて死亡。
- 未経産豚及び経産豚のいずれの新生豚でも発症。
- 発症豚のうち2頭を解剖。提出標本はそのうちの1頭のもの。
- 本農場において歯切りは実施されていなかった。

病原検索：

- 2頭の皮膚，皮下組織，肝臓及び脾臓より，*Pasteurella multocida*分離
- 組織グラム染色：深部真皮及び皮下組織→多数のグラム陰性球桿菌  
表皮表面—————→多数のグラム陽性球菌

頭部 右側面



頭部の紅斑及び腫脹

頭部 背側面

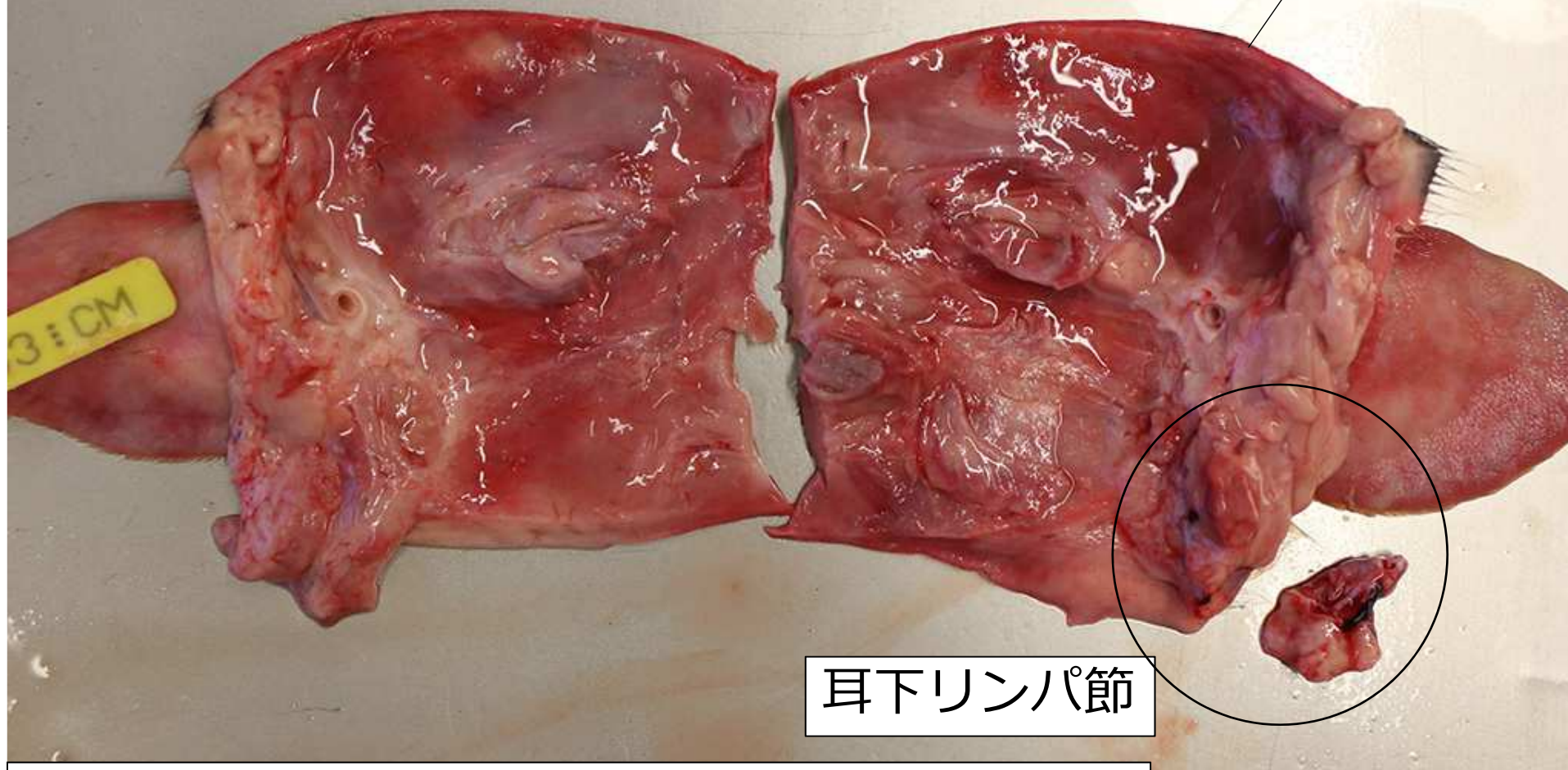
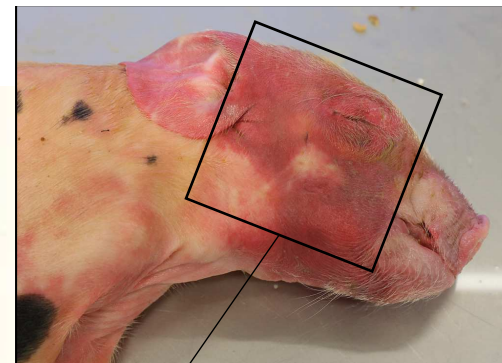


首

鼻

2つの痂皮

頭部皮下



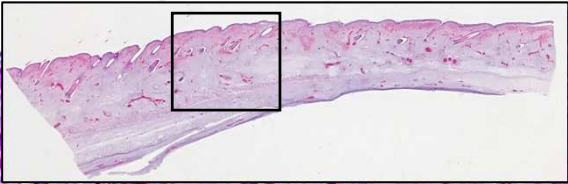
耳下リンパ節

皮下組織，真皮及び耳下リンパ節の著しい浮腫

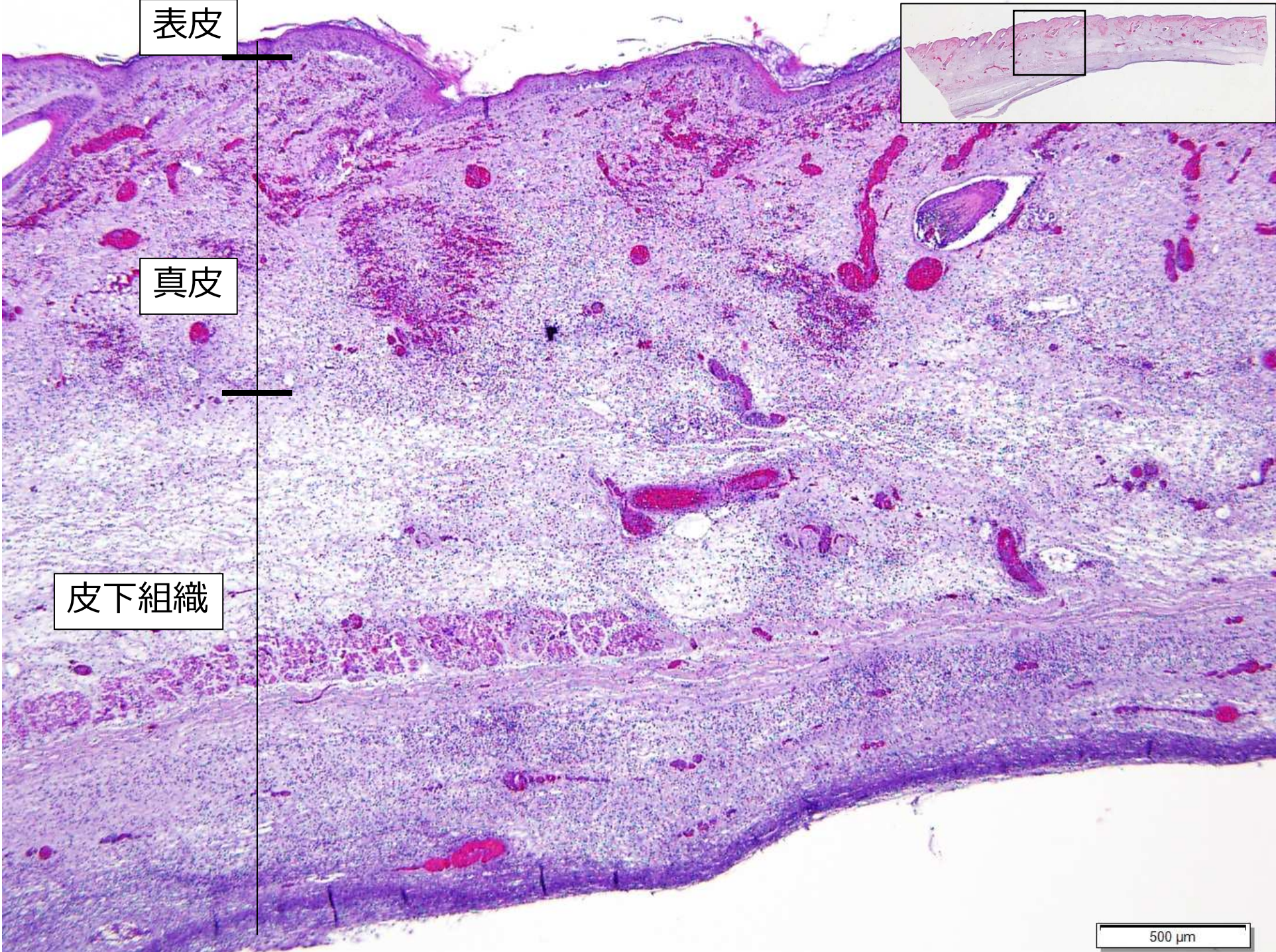
表皮

真皮

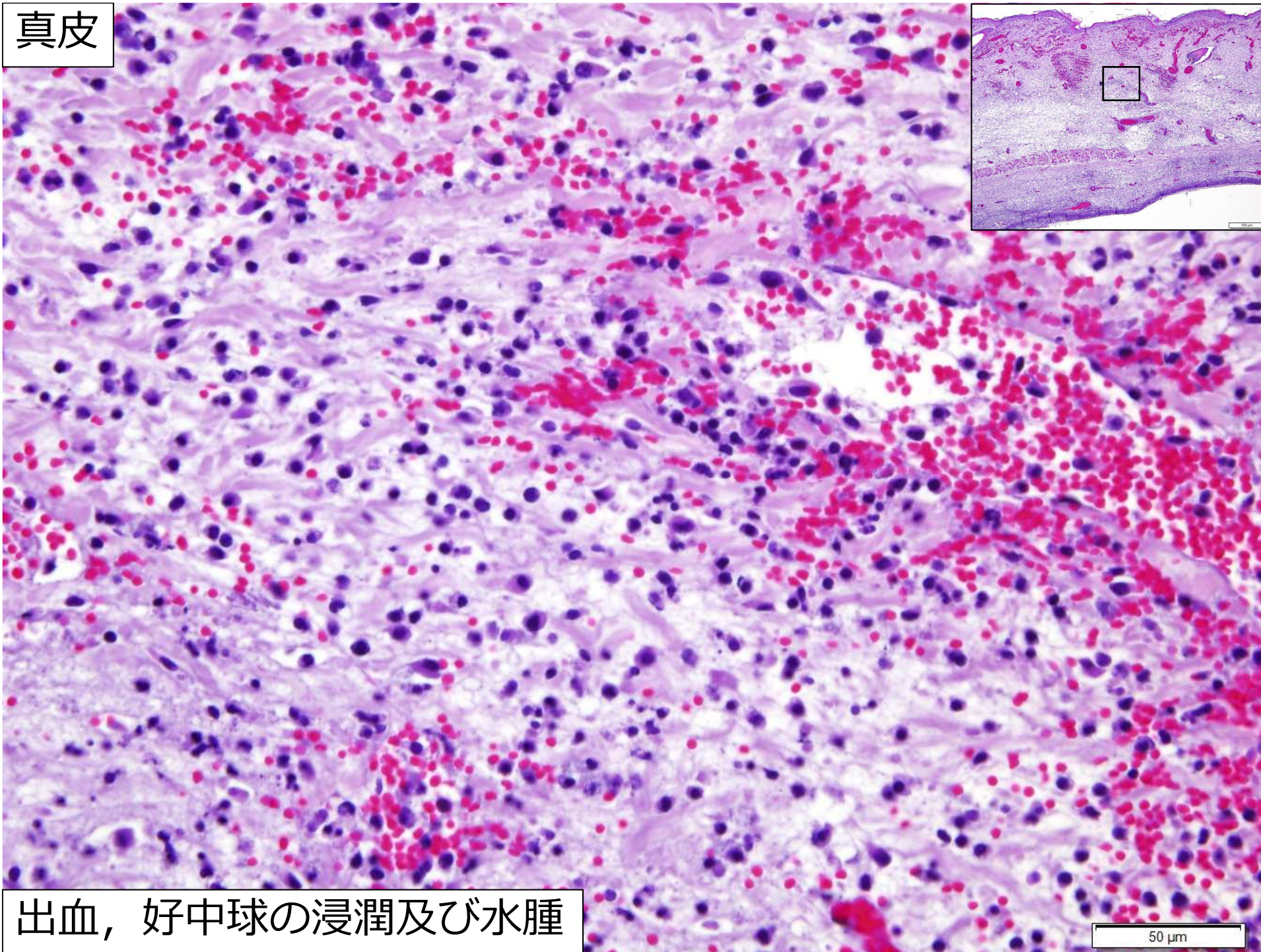
皮下組織



500  $\mu$ m



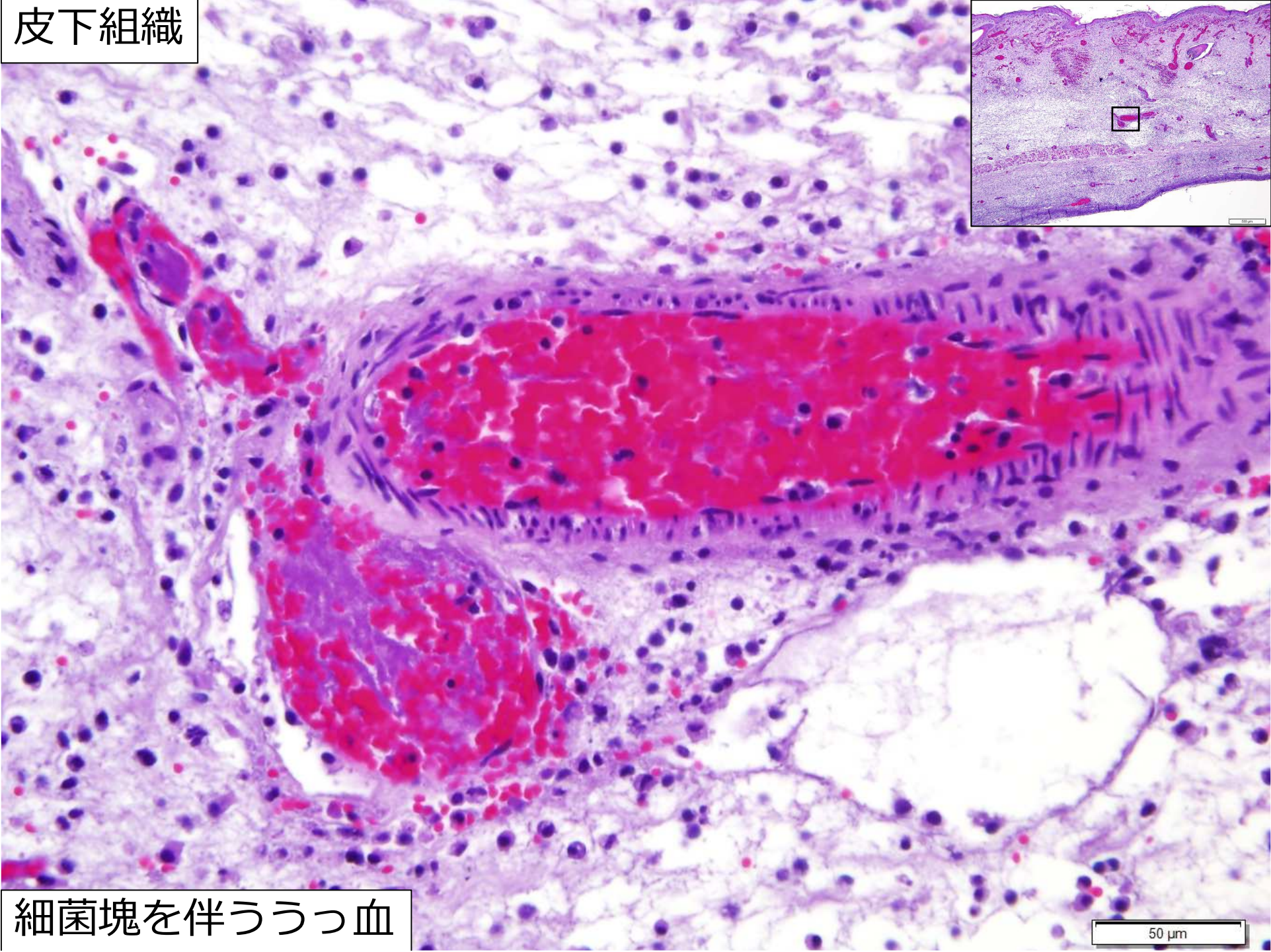
真皮



出血，好中球の浸潤及び水腫

50 μm

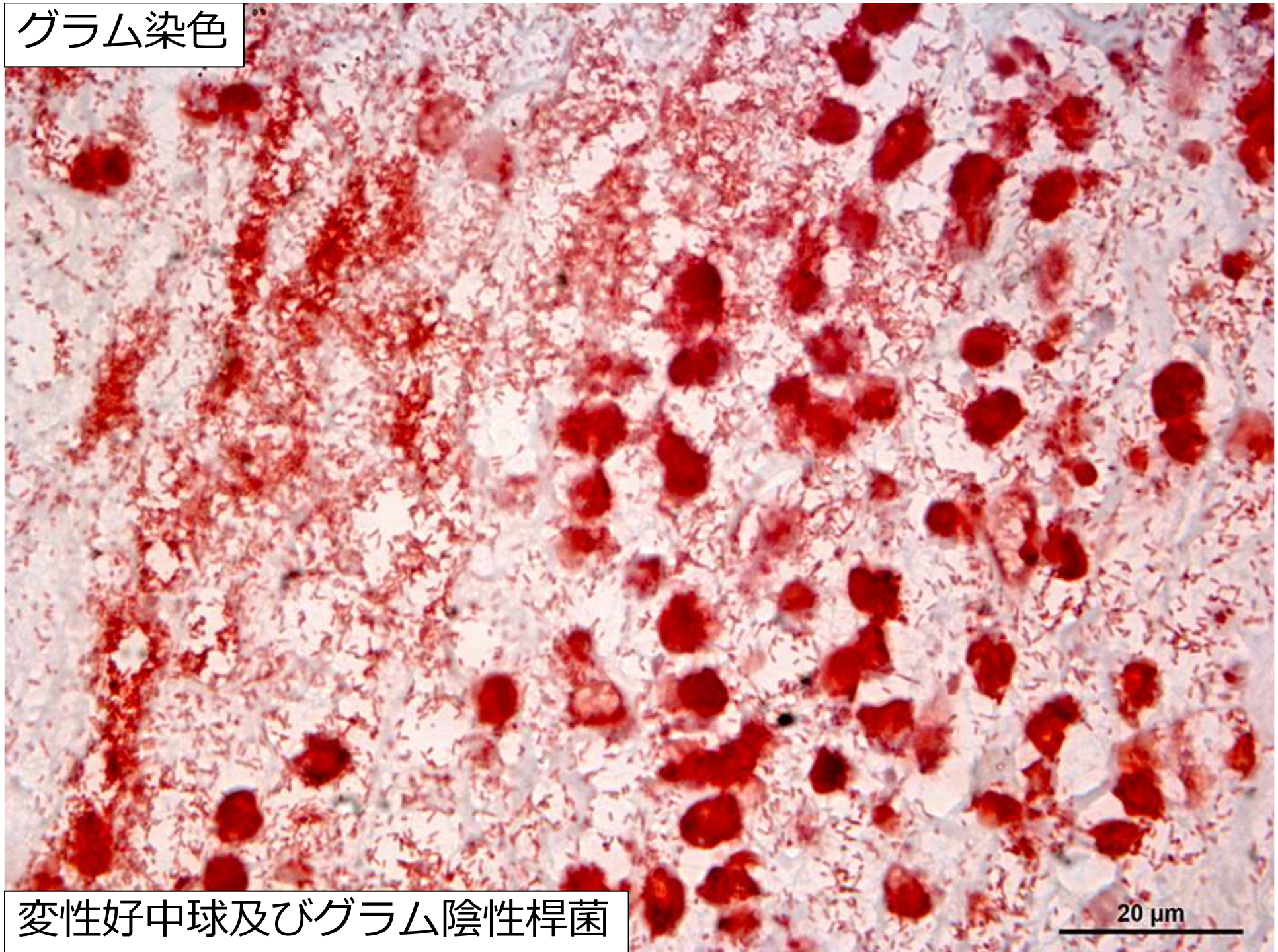
皮下組織



細菌塊を伴ううっ血

50 μm

# グラム染色



変性好中球及びグラム陰性桿菌

20  $\mu$ m



## 提出者の診断

1. 有毛部皮膚：皮膚炎，蜂窩織炎及び脂肪織炎，壊死性及び化膿性，びまん性，急性，重度。*Pasteurella multocida*と一致するグラム陰性細菌を伴う。
2. 有毛部皮膚：皮膚炎，潰瘍性および化膿性，多発性巣状，急性，重度。グラム陽性菌を伴う。

1. Haired skin: Dermatitis, cellulitis and panniculitis, necrotizing and suppurative, diffuse, acute, severe with gram-negative bacteria consistent with *Pasteurella multocida* .
2. Haired skin: Dermatitis, ulcerative and suppurative, multifocal, acute, severe with gram-positive bacteria.

## JPCの診断

有毛部皮膚及び皮下組織：皮膚炎及び蜂窩織炎，壊死化膿性，びまん性，重度。脈管炎，血栓症，及び多数の血管内及び細胞外の桿菌を伴う。

Haired skin and subcutis: Dermatitis and cellulitis, necrosuppurative, diffuse, severe with vasculitis, thrombosis, and numerous intravascular and extracellular bacilli

## 提出者のコメント

顔面壊死（顔面膿血）（Facial Necrosis、Facial pyemia）について

- 原因：哺乳豚同士の間傷による細菌感染
- 病原細菌：*Fusobacterium necrophorum*, *Streptococcus* spp., *Borrelia suis*等
- 好発年齢：1週齢未満
- リスク因子：多数の同腹豚。群の順位の低い弱い豚。  
母豚の産褥期無乳症症候群による泌乳不全。
- 症状：痂皮形成を伴う顔面側面から下顎までの  
両側性壊死性潰瘍
- 治療：痂皮の除去及び消毒薬または抗菌クリーム塗布。
- 予防：生後24時間以内の犬歯と側切歯の切除。  
里子による同腹豚の削減。  
清潔な分娩豚房。母豚の泌乳不全対策。
- 備考：本症例の重篤な病態は、*P. multocida*が産生する  
皮膚壊死毒素との関連が疑われる。

## JPCのコメント

### *P. multocida*による疾病について

種	疾患	血清型	概要
牛, 水牛 まれに豚, めん羊, 山羊	出血性敗血症	B, E	急性敗血症による突然死 下顎の浮腫性腫脹 リンパ節の出血と腫大
豚	萎縮性鼻炎	A, D	鼻甲介の形成不全あるいは萎縮
家禽	家禽コレラ	主にA	急性敗血症による突然死
家畜全般	肺炎	豚では 主にA, D	主に化膿性気管支肺炎 しばしば線維素性化膿性胸膜炎